

守谷ボランティア NEWS

2025年10月号（毎月1日発行）



＜発行＞守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話：0297-46-3370 FAX：0297-46-3320
Email：supportcenter@moriya-cac.org
ホームページURL：<https://moriya-cac.org/>
開館時間：午前9時～午後5時（午後8時まで延長可）
休館日：月曜日、年末年始

もりやクリスマスファンタジー2025 ランタン作りワークショップ

- 日 時 11月15日(土) 13:30～15:30
- 場 所 市民活動支援センター会議室
- 募 集 20人（保護者の参加も可）
- 参加費 無料
- 申込方法 11月8日(土)までにQRコードまたは支援センター窓口から申し込む
- 主 催 守谷市ネットワーカー連絡協議会
- 問合先 市民活動支援センター
✉ supportcenter@moriya-cac.org



リメイク缶を作って箱庭の寄せ植えをしてみよう！！

- 日時・内容 ※①、②両方参加可能
 - ①11月14日(金)または11月15日(土)9:30～12:00
好きな色を塗ったリメイク缶にお家とレンガの小径を作って箱庭にを作ります。
 - ②12月4日(木)または12月5日(金) 9:30～12:00
リメイクした器にXmasをイメージした寄せ植えを作ります。
- 定員 各回5名程度（先着順）
- 参加費 2,500円 ●持ち物 エプロン、アームカバー
- 申込方法 ①10月31日(金) ②11月20日(木)までにインスタグラムまたはラインから申し込む
- 主催 Anne's garden
- 会場・問合先 市民活動支援センター



Instagram



創立25周年記念フォトクラブ写遊写真展

北守谷公民館を拠点に活動するクラブの写真展です。今年はクラブ創立25周年を迎え、会員が各自の感性で撮影した写真作品を展示します。10月11日(土)午後2時～4時には写真家竹内敏信氏の弟子の写真家たちによるトークイベントも開催します。

- 日時 10月11日(土)～10月17日(金)
10:00～17:00（最終日は午後3時まで）
- 会場 市民交流プラザ 市民ギャラリー
- 主催・問合先 フォトクラブ写遊
金澤 ☎080-5508-6081



名指揮者

落語口演 笑うが一番 からだにいい！

笑いの力で心と身体を元気にする口演です。生の落語の魅力をお楽しみください！

- 日時 11月22日(土)13:00／13:30～15:00
- 会場 市民交流プラザ 市民ギャラリー
- 定員 先着100人
- 申込方法 10月17日(金)～11月9日(日)までにQRコードまたは支援センターホームページから申し込む
- 参加費 500円
※11月16日(日)までに、支援センター窓口で支払う（現金のみ）
※支払いがない場合はキャンセルとし、キャンセルによる返金はできません
- 出演 古今亭志ん輔師匠（落語家）
- 主催・問合先 市民活動支援センター



登録団体活動情報 10月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合先
楊名時太極拳守谷同好会ボランティア部	みづき野中央公園（雨天中止）	毎週火曜日 10:00～11:30	市民活動支援センター
	守谷中学校	毎月第1月曜日 10:00～11:00	
フォトクラブ写遊 写真展、撮影会の開催	中央公民館	第4土曜日 9:00～16:00	金澤 080-5508-6081

助成金情報

*内容は変更になる場合があります。
各HPをご確認ください。

環境	～10/31 2026年度「環境市民活動助成」 一般財団法人セブンイレブン記念財団 https://www.7midori.org/josei/
環境・まちづくり	～10/31 第36回コメリ緑資金助成 公益財団法人 コメリ緑育成財団 https://www.komeri-midori.org/koubo/
環境・医療	～11/1 2025年度年賀寄付金助成金 日本郵便株式会社 https://www.post.japanpost.jp/kifu/

豆コラ

明治時代の運動会では、競技に美しい比喩的な呼び名が付けられていました。たとえば、徒競走は「雀の巣立ち」とされ、子どもたちの初々しい走りは、巣立ち雀の姿に重ねられたものです。綱引きは「龍争虎闘（りゆうそうこう）」とされ、迫力ある勝負が龍と虎の激しい戦いになぞらえました。障害物競走には「百鬼夜行（ひやっきやこう）」という名が与えられ、さまざまな障害を乗り越える姿が、妖怪たちの行進のように見立てられました。このように、明治の運動会には、ただの勝ち負けだけでなく、自然や想像、文化を重ね合わせた豊かな情景がありました。それは、子どもたちが身体を動かすと同時に、言葉の力と心の世界を学ぶ、まさに「からだと言葉の祭り」とも言える豈みだったのかもしれません。

～令和版「駆け込み寺」を目指して～

地域全体で子どもを見守り、子育てを支える居場所の運営活動 もりや公益活動促進協会主催講演会

【ひたちなか市正安寺 に視察に行ってきました！】

お寺が持つ資産や特性を活かし、地域全体で子どもや困窮者、孤独者を支える取組みが、地域の課題解決に大きく貢献している「NPO 法人ただいま」さん。檀家さんの賛同をいただき、2022年2月3日に設立されました。

「いばらきチャレンジアワード支え合い 2024」などの受賞歴があり、新聞や市報など多くのメディアに取り上げられています。

市内のボランティア団体活動にも得られる知識や工夫があるのでと考へ、講演会を企画しました。



講演会を控え、事前に視察を行いました。

ただいまさんの代表理事は住職、坊守の増田さんご夫妻です。スタッフは14名、ボランティアは30~40名。若い世代が多く、大学生ボランティアの中には教師志望の学生もいて、学校に行けない子の気持ちを知りたいと参加しています。

現在は6つの事業を運営しています。

1つ目は子育て支援センター「なないろカフェ」。0歳から就学前のお子さんと保護者を対象としたカフェです。ここへ来てお喋りすることで孤立を防ぎ、情報交換の場となっています。



2つ目は地域食堂「ただいましょくどう」。スタッフ2人で給食を作っていました。お寺の調理場は広く使い勝手が良いとのこと。お米、野菜は檀家さんや近所の方々の寄付です。本当にありがとうございました。



3つ目はフリースクール「ふらっと」。学校に足が向かない小中学生が通っています。各学校との連携により、ここに来れば出席扱いになります。給食の時間になると、子どもたちは率先して出来上がった給食を給仕してくれます。一緒に給食をいただきました。学校に行けなくても勉強や遊び、大人とのコミュニケーションができ、イキイキしていました。

4つ目は放課後の居場所「てらこや」。以前、「てらこや」に来ていた子どもたちが今では高校生になり手伝いに来ています。

5つ目はフードパンtries 「TeToTe」。農家や近隣店舗などから寄付されたものを配布。以前、利用していた方がボランティアとして手伝っています。

6つ目は通信制高校生の居場所「ふらっとプラス」。学校に行く機会が少ない通信制高校は引きこもりになりがちだという話を聞き、立ち上げた事業。同じような境遇の高校生たちの居場所となっています。



8月30日に地域交流館「ただいまてらす」が完成。9月からはこちらで全ての事業を行います。建設には、茨城県産の木材を使用することで得られる助成金と茨城大学の協力活用しました。

代表の増田さんは、困りごとに寄り添ってきた結果、事業がどんどん拡がり、仲間も次々と増えました。「足りないことはチャンス」と考えていました。また、続けていくには人件費が大変なので、助成金申請は暇さえあれば探しているとも話していました。



茨大生がデザインしたシャツ

もりや公益活動促進協会では、助成金だけでなく、団体への伴走支援に力を入れています。自主財源確保や基盤づくりなどのお悩みがあればご相談ください。

守谷市民活動支援センター